



つばさだより No.208
2012年3月



つばさ薬局 多賀城店 ☎022(366)8001 吉川店 ☎0229(22)7010
長町店 ☎022(308)5711 泉店 ☎022(772)1571
船岡店 ☎0224(58)1065 若林店 ☎022(289)8777
中新田店 ☎0229(64)1888 松陽台店 ☎022(361)9444
松島店 ☎022(353)2990 ことた店 ☎0229(31)2550
玉川店 ☎022(365)2838



寒さの中にも春の気配を感じられる季節となりました。
今回は震災時に大いに役だった「お薬手帳」について
まとめてみました。

みなさんもこれを機会に自身のくすり情報の管理について改めて考
えてみませんか？

今回の震災を受けてお薬手帳が 大いに役立ちました!

公共の交通機関が麻痺し、ガソリンも手に入らずかかりつけの医療機関に行くことが困難だった方も多くいらっしゃったと思います。普段受診したことのない病院でも安全にくすりを継続したり、新たに処方してもらうのに本当に役立ったとの声を多くの人から聞きました。避難所などで支援した医師からも、これまでどのようなくすりを服用してきたかが一目で分かり、初めて診察した患者様へも安全に処方することができたと報告されています。被災した医療機関も多かったため、国の特例措置で定期薬がある方については、「お薬手帳での調剤」が一時的に認められるという場面もありました。ほとんどの病院や薬局では、患者様の情報を主にパソコンを使用して管理しています。停電時にはそうした情報を得られなくなる可能性もあり、「患者様自身でのくすり情報の管理」が非常に大切となります。

お薬手帳を知らない方のために

お薬手帳は処方されたくすりの内容や患者様の副作用歴・アレルギー歴を記載するもので、どこの薬局でも無料（薬剤情報提供料については負担割合により1回10円～50円。今後の診療報酬改定で変更される可能性あり）でもらえます。現在、日本では1万7000種類ほどの医療用医薬品が使われており、病院ごとに同じ成分であっても名称が異なるくすりを扱っています。そこで、手帳を活用することで複数の医療機関にかかった場合にくすりの重複を防ぐことができ、安全な薬物治療へとつながります。



おくすり手帳

おくすり手帳は
1冊にまとめて、
病院や薬局に
毎回提示してください

安心

年 月 — 年 月

お名前 様



くすりがいつも同じという方も「毎回」手帳を持参しましょう！

多くの薬局では処方内容をシールとして手帳に記録します。普段から手帳を利用されている方には毎回同じ内容なのにシールを貼る必要があるのか疑問に感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、同じくすりが継続しているということも大事な記録です。手帳がすぐに一杯になるのが嫌だと感じる方については手書きで薬剤師が定期薬〇〇日分などとメモ程度にすることもできますので気軽にご相談下さい。

その他、くすりの内容が変更になった際や、採血結果など検査値のメモにも役立ちますし、万が一、副作用が起きた場合に原因薬を推定するのにも役立つ場合があります。上手に活用すれば、くすりの記録というだけではなく、治療全般の記録にもなります。



お薬手帳を有効活用するには?自分で手帳にどんどん書き込もう!

手帳を病院ごとに分けて利用している方は薬剤師に頼んで1冊にまとめてもらって下さい。すべてのくすりの内容が分からないと安全な薬物治療はできません。アレルギー歴や副作用歴のある方、市販薬を使用されている方はそうした情報を手帳に目立つように薬剤師に書いてもらって下さい。

個人病院をご利用の方で、そこで直接くすりを受け取る場合には、なるべく職員へお願いして手書きで構いませんので書いてもらうと良いでしょう。「自分で手帳に何かを書き込んではいけない」これは「誤解」です。

いくつかの例をみて、今後の手帳の使い方を工夫してみませんか?

ケース1 咳と痰が続き受診した60歳の患者様

| | |
|--|---|
| <p>◆おくすりの内容</p> <p>2010年1月10日 クラビット(100) 3錠 毎食後5日分</p> | <p>◆患者さんが書いたメモ</p> <p>飲んで2日くらいで具合悪くした。病院へ電話して止めるように言われた。</p> <p>➡ 同じ副作用を起こさないために大切な情報となります。</p> |
|--|---|

ケース2 熱、咳など風邪症状で受診した1歳児

| | |
|---|---|
| <p>◆おくすりの内容</p> <p>2010年12月10日 フロモックス細粒 1g ミヤBM細粒 1g 毎食後 3日分 ムコダインDS50% 0.6g 毎食後 7日分 ホクナリンDS 0.4g 朝・夕食後 7日分</p> | <p>◆患者さん家族が書いたメモ</p> <p>12/10熱高くこの日はぐっつりの様子。薬を飲ませようと思ったが嫌がるため、そのまま寝かせた。翌日、少しずつ元気出てきて、食欲出てきた。朝・昼きちんと飲んだが、夜にまただるそうにしていて薬は飲まずに寝かせた。</p> <p>➡ この場合は小さいお子さんの服用状況や体調を記録したもの。次に受診した際、薬の効果などの判断にとても役立ちます。</p> |
|---|---|

ケース3

風邪をひいて受診した緑内障のある70代の患者様

| | |
|---|---|
| <p>◆おくすりの内容 2012年1月10日 ペレックス顆粒 3g 毎食後 6日分</p> | <p>◆メモ欄 ○○病院眼科 △医師へ 患者様からは△医師から薬について制限を受けたことはないとのことでしたが今後、眼圧に影響する薬剤が処方された際に本患者様に注意する薬剤等あればお知らせ下さい。 つばさ薬局 薬剤師 ○○ 2012.1/20 上記、閉塞型ではないので制限しなくてよい。 △医師 押印</p> <p>➡ この場合は緑内障の患者様に安全にお渡しできる薬なのかを病院と薬局間で、情報を交換できた例です。</p> |
|---|---|

ケース4

発熱があり受診した30代の患者様

| | |
|--|---|
| <p>◆(副作用歴(あり)・なし) 2005年 アモキシシリンにて発疹 ○○薬局</p> | <p>◆今回処方された薬 2011年5月10日 オーグメンチン配合錠250RS 3錠 毎食後 4日分 今回、処方された上記の薬にはアモキシシリンが入っており、対応した薬剤師は手帳の副作用欄の記載に気付いて処方医へ問い合わせし、他の薬へと変更。</p> <p>➡ この場合は以前に体験された副作用を再び起こさないために手帳がうまく活用できた例です。</p> |
|--|---|

＜参考資料＞ 「お薬手帳の実践的活用法 じほう」

つばさ薬局ではセントラルキッチン栄養士による栄養相談を実施しております。食事内容についてお困りの方はお気軽にご相談ください。

4月の栄養相談予定

(各店10:00～12:00開催です)

- ・ 3日 (火) 松島店
- ・ 5日 (木) 長町店
- ・ 9日 (月) 松陽台店
- ・ 11日 (水) 多賀城店
- ・ 13日 (金) 若林店
- ・ 17日 (火) 古川店
- ・ 19日 (木) 泉店
- ・ 23日 (月) こごた店
- ・ 25日 (水) 玉川店
- ・ 27日 (金) 船岡店